

2023年2月28日

株式会社 Geolocation Technology
2023年6月期第2四半期 決算説明会
質疑応答

Q. 第2四半期の業績については計画数値の情報開示がなかったが、第2四半期の実績は社内的な見通しに対してはどのような推移だったと認識されていますか。また、その第2四半期についての認識を踏まえて、今期の通期、さらには今年7月以降の来期については現時点でどのような展望を描かれていますか。

A. 当第2四半期の進捗は、社内的な予算に対し計画通り推移しております。通期の業績につきましては、官公庁の案件が増加していることもあり、第3四半期に売上が集中することを想定しており、案件の獲得及び納期遅れのないよう進め、達成に向け取り組んでまいります。来期に関しましては、現時点ではまだ業績予想の発表等行っておりませんが、さらに売上利益ともに伸ばしていきたいと考えております。

Q. IP Geolocation 事業の売上高の中で、「どこどこ JP」の占める割合を教えてください。

A. 「どこどこ JP」単体での割合は公表しておりませんが、IP Geolocation 事業におけるサブスク型サービスの占める割合は60%程度でございます。

Q. 今後の事業拡大（グローバルに展開する等）のイメージを具体的に教えて欲しいです。又、東京市場への鞍替えをされる可能性はありますか？あれば、時期的にいつ頃が頃合いかもイメージで良いので教えて下さい。

A. 「SURFPOINT™」や「どこどこ JP」の機能拡張に加え、サイバー犯罪防止領域でのシステム開発も強化していきたいと考えております。東京市場への上場に関しましては、上場を検討始めた当初より東証市場を目指して上場準備をしていたという背景もあり、早期に目指せるように取り組んでまいります。

Q. 大口解約顧客は他社のサービスに乗り換えたのでしょうか。あるいは単に不要になったのでしょうか。

A. 「どこどこ JP」が組み込まれていた顧客のサービス終了に伴う解約が主な理由となっております。

Q. 以前、採用を積極化していると聞きましたが、採用状況はどうですか。

A. 2023年6月期に入りすでにパートを含め10名の採用を行いました。配属部署としては、技術開発部に5名、営業部に4名、管理部に1名となっております。今後よりいっそう、優秀人材の確保に向け積極的に採用活動を行ってまいります。